

単元名 人間のきずな

盆土産

指導日時	令和6年9月10日(火) 第5校時 (12:50~13:35)
指導学級	第2学年5組 (36名)
場所	2年5組 教室
指導者	先生
指導教官	先生

1. 単元設定の理由

(1) 教材観

本教材「盆土産」は「家族」をテーマにした作品である。出稼ぎに行っていた父親が、家族への土産に「えびフライ」を持って帰ってくる。少年の「えびフライ」に対する思いや父の家族に対する愛情を温かく描いており、生徒にとっても親しみやすい作品である。読み進めていくにつれ、「えびフライ」は、家族を思いやる心情と絆の深さを象徴するものであると感じ取れる。それぞれの場面の状況や人間同士の関係を押さえ、人物の人柄、心情の変化を丹念に読み取ることができる。特に、父親の様々な言動に一貫して見られる優しさや、父親を迎える前や、一緒に過ごしている時、別れの時で変化する語り手の心情を捉えることができる教材である。離れて暮らす父親の帰省を待ちわびる子どもたちを表すと同時に、日数が限られた墓参りによって母や祖父と向き合った「切なさ」も表されている。

(2) 生徒観

授業開始前には全員着席が出来るなど、全体的に落ち着いてしっかりとした授業態度で取り組んでいる。また、教員の指示を素直に聞き、作業にも真面目に取り組むことが出来る。学力や学習に対するモチベーションは個人間での開きはあるものの、全体的に授業に前向きに取り組むような雰囲気がある。一方で、積極性に欠ける面もあり、発言に対して控えめで、自発的な活動が求められるという課題がある。文章の内容や、作品の場面構成などはある程度理解することが出来るが、受動的に理解するにとどまり、抽象的な文章を読んで心情を考えたり、共感したり、想像を膨らませるような、自分のものの見方や考え方を広くすることが十分ではない。また、個人の力だけでは十分に読み取ることが出来ない生徒もいるため、他者との話し合いを通して読み深める学習を展開したい。

(3) 指導観

本作品では登場人物の中心に「えびフライ」があり、「えびフライ」を通じて家族の愛情が受け取りされていることに注目したい。直接的に描かれていることだけではなく、抽象的な表現も多く、想像力を働かしながら自分の考えと合わせて読み深めていきたい。また、そのため個人で心情を理解しようとするに加え、グループによる活動で意見交換し自分の考えを深めることも積極的に取り入れたい。生徒一人一人がしっかりと課題と向き合う時間をとり、自分の考えをもった後に他者の考えと比べ、自分の考えを見直し再構築させながら、新たな読み取りや作品を様々な面から捉えることができるようにしたい。単元の最後には本作品の帯文を作成し、グループでその理由を発表し合う機会を設けることで、自分の言葉で自身の考えや意見を表現すると共に、他者に伝える力をつけてほしい。現代でも、家族が揃って暮らす生徒もいれば、この作品と同様、離れて暮らす家族がいる生徒もいる。家庭の事情は様々であるが、この作品から温かい気持ちを感じとり、改めて自分と家族の関わりにも思えるような豊かな感受性を育てたい。中学二年生という大人と子どもの狭間で、特に家族に対して素直になれない時期の生徒たちには、この作品を通して家族と向き合うきっかけにしてほしい。

2. 単元目標

- (1) 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
- (2) 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
- (3) 作品の内容やテーマについて、本文に即して読み取ったり、話し合ったりしようとする。

3. 本単元における言語活動

小説を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動

C 読むこと (2) イ

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・技能・判断力	主体的に学習に取り込む態度
抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使う事を通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において。登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。

5. 指導と評価の計画（全5時間）

時	○学習活動 ★主な発言	主な指導上の留意点	評価規準・ 評価方法等
1	本単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 「盆土産」の魅力を表す帯文を作成しよう 【導入】 お盆の過ごし方を聞く お盆がどういったものかを確認する ・本文の通読 初読の感想を書く	・指導者が作成したものを例として提示 ・お盆に関する捉え方を確認する ・あらかじめ感想を書くことを伝えておく	態 知 思
2	○時代背景を踏まえて、作品の構成をつかもう。 ●小説の舞台を考える →高度経済成長期の農村部が舞台 出稼ぎに行く父と残される家族 ・文章中から、時代や物語の背景からわかる情報をさがす	・この時代、よくある光景（家族を残して出稼ぎをする）であったことに気づくよう指導する	

	・今の子どもたちが出稼ぎについて知らないことも考えられる →単身赴任との違いを考えさせる ●3つの場面の内容を整理しよう 場面ごとの心情の変化に着目する	・本作品が一行空きで、三つに分けて構成されていることを確認する	
3	○読み取った登場人物の設定や、登場人物同士の関係を考えよう ●人物の言動や様子から読み取れる人柄について考えよう ・人物の相関関係が分かること ・その人をよく表していると思う情報を書くこと →根拠となる部分も考える (何ページの何行目)	・作品の中心にえびフライがあることを確認する ・ノートの真ん中にえびフライを配置するように指示する	思 態
4	○作品の中心である「えびフライ」に着目して読みを深めよう。 ●「えびフライ」にはどのような心情が込められているだろう。 ・えびフライとえんぴつフライが出てきた場面を確認する (冒頭部分(①主人公と姉との会話)②母の墓参り、③父のお見送り) ●なぜ「えびフライ」をお土産に選んだのか。(喜作と比較して考える)	・3時間目で登場人物の整理をする際、中心にえびフライがあったことに触れる ・生徒の気づきを大切に、様々な意見を交流するようにする	思 知
5	○作品の解釈をする ●作品の印象を「ひとこと」で表すなら何か →なぜそう捉えたのか、具体的な場面や描写を基に述べよう ●作品の魅力を表す帯文を作成する ・帯文のモデルを再度示す ・なぜその帯文にしたのか、理由も示す ●出来上がった帯文を基に、作品の魅力を語る - 単元の振り返り	・形容詞・形容動詞といった指示をする ・自分で言葉を設定できない生徒には、まず「温かい・温かさ」について取り組ませ、次に自分の言葉を探すチャンスを与えたい ・帯文は何種類か作成できるとよい ・どこの場面か分かるように、引用の仕方に気をつけるよう伝える	知 態

6、本時の目標

○作品の中心である「えびフライ」に着目して読みを深めよう。

7、本時の評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の考えを具体的な場面や描写を基に、作品の印象を考えることが出来る	・はっきり描かれていない言動の意味を、想像力を働かして考えることができる。また文章にする事が出来ている。	・学習課題に沿って、自分の考えを伝え合おうとしている。

8、本時の展開 (4/5)

展開 (時間)	○学習活動 ★主な発言	指導上の留意点	評価規準・ 評価方法等
導入 3	○前回までの授業の振り返り	・3時間目で登場人物の整理をする際、中心にえびフライがあったことに触れる	
展開	○作品の中心である「えびフライ」に着目して読みを深めよう。 ●「えんぴフライ」にはどのような心情が込められているだろう。 えんぴフライが出てきた場面を確認する。 (①冒頭部分(主人公と姉の会話) ②母の墓参り、③父の見送り) ②③において、どうして「えんぴフライ」と言ってしまったのか考える。 ・個人で考える ↓ ・班で考える (ホワイトボードに書く) ↓ クラス全体で共有する 取り繕った表面的な感情ではなく、素の自分に近い場所からこみあげてきた思いが言葉になった時に「えんぴフライ」になっている。	・何ページの何行目かを全体で共有する ・机間指導をしながら、個人活動、班活動の時間配分を調整する ・②③に共通する感情について確認する	知 思

40	えんぴフライ＝家族のつながりの象徴 ●なぜ「えんぴフライ」をお土産に選んだのか。 (喜作と比較して考える) (意見例) ・家族に珍しいおいしいものを食べてほしい。苦労して持ち帰った→駅で買えるお菓子、代わり映えない ・家族みんなで楽しめる、みんなで食べられる →一家団欒、祖母もおいしく食べてほしい ・形に残る物よりも、食べ物のほうが、家族の思い出になる →洋服、おもちゃ、個人で楽しむ	・意見が出にくい場合、「父親がなぜ選んだか」を考えるようにする ・「えんぴフライだからこそ、もたらした効果」を考える。 ・喜作の盆土産が少年の盆土産との比較対象になっていることを確認する ・喜作と少年の盆土産において、どちらの方が良いというものではないことを共有する。	知思
まとめ 5	○本時の授業の振り返り ○次回の予告	・押さえてほしいポイントを確認してまとめる	態

9、ワークシート

【盆土産 三浦 哲郎】 名前 ()	
目標 作品の中心である「えんぴフライ」に着目して読みを深めよう。	
(一) 「えんぴフライ」にはどのような心情が込められているだろう。	(二) なぜ「えんぴフライ」をお土産に選んだのか。
(祖母) (少年)	(自) (他)